

連合青森・東青地域協議会役員の見学の中で！！
第5期ユニオンスクール渡島・第2回学習会開催

第5期ユニオンスクール渡島の第2回学習会が、5月24日（土）午後1時30分より、函館市新川町「函館パークホテル」において開催しました。

今回の学習会には、連合青森の東青地域協議会役員8名も特別参加し、従来とは一味変わった中で行われ、いつものように講師として壇上に立った連合北海道組織対策局の皆川次長も最初は戸惑いを見せていました。

1. 連合青森・東青地域協議会の学習会参加について

今回の学習会見学は、以前に連合本部で発行した「職場から始めよう運動」取り組み事例集（2013年5月－米坂事務局長執筆）に掲載された記事を読み、地域における教育活動の強化を基本に、次年度開催を目指して参考にしたいと見学希望が寄せられたものです。



前日に函館入りした東青地域協議会一行（佐藤議長以下8名）は、連合渡島地域協議会内において荒木会長以下5名との会議を開催し、

- ◆ ユニオンスクール渡島の開催された経過と基本
- ◆ 労働組合の存在価値の希薄と役員の成り手の悩み
- ◆ 年3回12時間を設定した具体的な受講内容と進め方

- ◆ ユニオンスクール渡島の組織活動における波及効果と人材育成の成果

- ◆ 開催にあたっての問題点・課題・諸準備等の在り方

等々、多岐にわたって意見交換が行なわれました。

冒頭、米坂事務局長からは

- ◎ 渡島地域協議会管内における社会・経済状況
- ◎ 一次産業と観光、中小企業中心の渡島管内における労働組合の現状
- ◎ 地域に顔の見える運動の具体的実践へ向けた課題と悩み
- ◎ 人材育成や役員の資質の向上を基本とした学習体制の追及の在り方
- ◎ スクール修了生の組合組織における活動や様々な運動への参加状況

等々が資料を基に話された後、意見交換へと移行しましたが、東青地協の積極的な姿勢に時間の経過が早く、たちまち予定した2時間となりました。

どの地域においても同様の悩みを抱え、将来を見据えた組織活動・地域運動の強化・充実を図る立場から教育活動以外の意見交換を行う場も見受けられ、これを契機に、積極的な交流を図りつつ様々な意見交換を行って行くことが相互で確認されました。

特に興味を持たれたのが名物となった「模擬団体交渉」（第3回学習会テーマ）で、労使間における営みの重要性は理解しつつも、どのように教えていくべきか、理解を深めていくかに悩んでいた様子は、スクールを始める前の渡島地協と同様でした。

質問・意見交換は交流会の場にも及び、何としても次年度方針の具体的取り組みの中に取り入れたいという東青地協の姿勢に、渡島地協としても改めて教育活動の更なる強化を図っていかねばならないことを改めて痛感しました。

2. ユニオンスクール渡島・第5期生第2回学習会も和気藹々に

いつもの会場雰囲気とは違い、5期生に連合青森・東青地域協議会8名が加わった賑やかな中で、第2回学習会は開催されました。



冒頭、挨拶に立った荒木校長（連合渡島地域協議会会長）は、「全道の枠を超えて関心を持たれたことは大きな意義がある。地域に顔の見える運動の一環として開催している『食と環境まつり』の原点は連合青森の取り組みであり、今後も相乗効果を求めて活動を進めたい」と海をはさんだ交流を歓迎しました。

予定外の指名で挨拶に立った連合青森東青地域協議会の佐藤議長からも「ユニオンスクール渡島には非常に高い関心を持っており、今回の見学を契機に自地協において進めていくための参考にしたい。他の運動においてもお互いに連携を図りたい」と思いが告げられました。

早速、皆川講師による第一講義が始まり、今回のテーマは「なんちゃって財務諸表の見方でOK!」と題された課題。

第3回学習会のテーマが「模擬団体交渉」であることを意識し、事前に財務諸表の見方に対する予備知識を学ぶという意図もあり、皆川講師得意の軽妙な話術で授業が進められました。

また、グループワークのテーマは「NEWユニオンかるた《団体交渉編》」とされ、今までとは一味違ったかるたを使ってグループ作業が進められました。



「ユニオンかるた」には東青地域協議会8名の関心度も高く、興味津々。日常活動の中で何気なく使っている言葉としては理解していても、いざ詳細の説明となればなかなか難しいものもあり、思った以上に苦戦する面も見受けられました。

最後のテーマは、次回「模擬団体交渉」にむけた事前学習が行われ、これまで4回は妥結に至らずタイムアップとなっている「模擬団体交渉」を、より進めて行こうとする狙いがあり、テーマに対する要求書や申入書作成の実習と共に組合員への説明・闘争方針決定のプロセスを学習するため模擬職場集会も実演し、そのまま次回へ持ち込まれることとなりました。

次回、会社側役員を演じる渡島地協役員からは、「事前の擦り合わせがここまで進められたことは、従来を超える手ごわさが想定されるので、会社側も本腰を入れて対処しなければならない。」と今から闘志を燃やしていました。

第2回学習会終了後の東青地域協議会の感想は、

- ☐ 座学中心ではなく非常に楽しい雰囲気の中での学習であり、更に興味を持った。
- ☐ いざ、自地協で開催するとなれば非常に重たい課題と改めて認識をした。
- ☐ 今回を参考に、次年度の具体的開催へ向けて努力をしていきたい。
- ☐ 「ユニオンかるた」については、スクール以外でも産別・単組学習会等でも活用が図れる素晴らしいものであり、実践してみたい。
- ☐ 8月に開催される第3回（最終）学習会の「模擬団体交渉」も是非、傍聴したい。

等々であり、ユニオンスクール渡島の取り組みについて高い評価を受けました。